

第18期(2016年3月期) 第2四半期決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(JASDAQスタンダード, 証券コード8462)

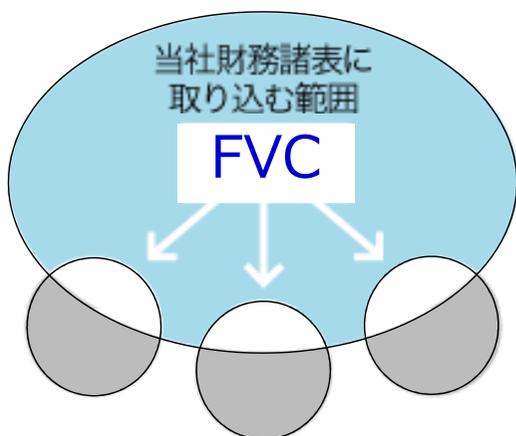
本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

本資料の数値は、特に指定がない限りすべて2015年9月末現在のものです。

本資料における記載数値について

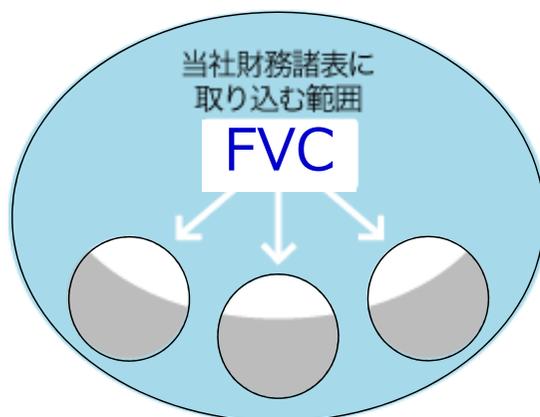
当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、本資料では、基本的に投資事業組合の当社持分のみを連結した個別決算数値を記載しております。

個別



当社の持分の割合のみ取り込み

連結



当社の持分の割合にかかわらず
ファンドを全て取り込む

<連結決算の場合>

- 連結貸借対照表
 - ・ 自己資本比率が低下
- 連結損益計算書
 - ・ 営業投資有価証券にかかる損益が増幅
 - ・ 投資事業組合等管理収入が内部取引とみなされ、相殺消去（管理報酬等）

投資事業組合の運用総額に占める当社持分の割合23.8 %

目次

1. 株式市場環境 …… P.4
2. 2016年3月期第2四半期決算説明 …… P.10
3. 収益改善に向けた取り組み …… P.18
4. 第三者割当による新株予約権発行 …… P.23

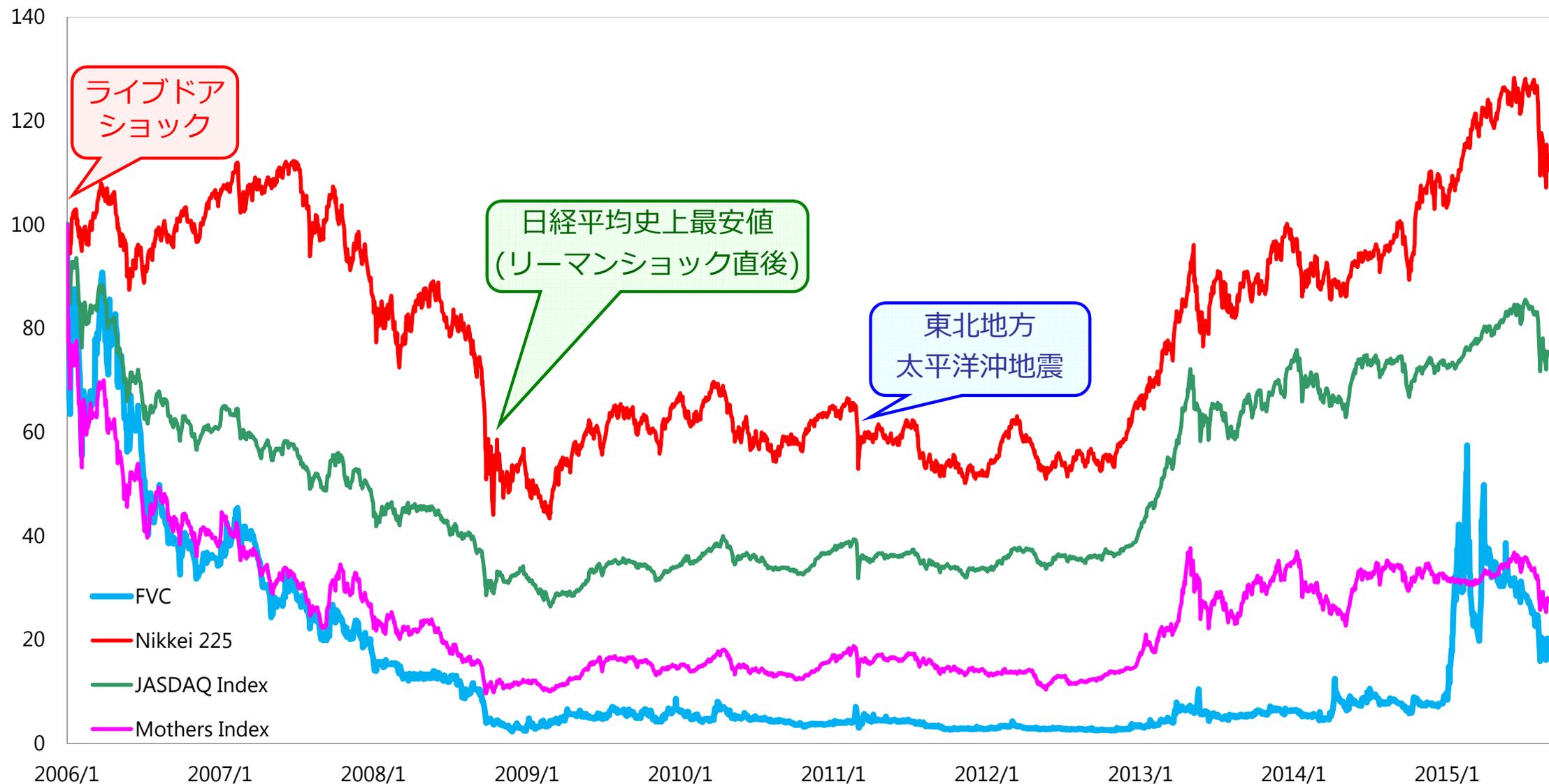
【参考】 会社概要

株式市場環境

1.1. 株式市場の状況(1)

ライブドアショックによる新興市場へのインパクトはいまなお大きい

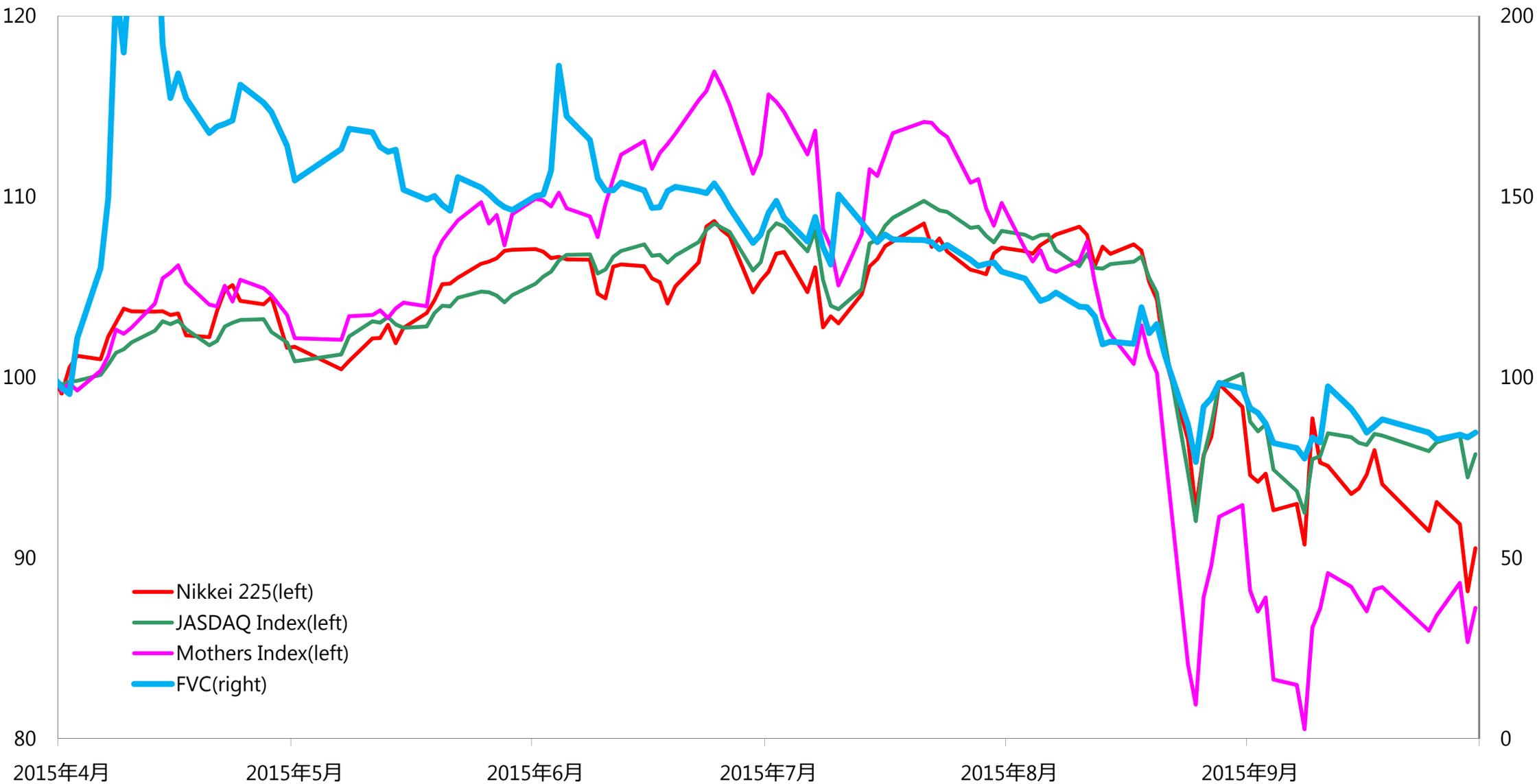
2006年1月16日を100とする指数



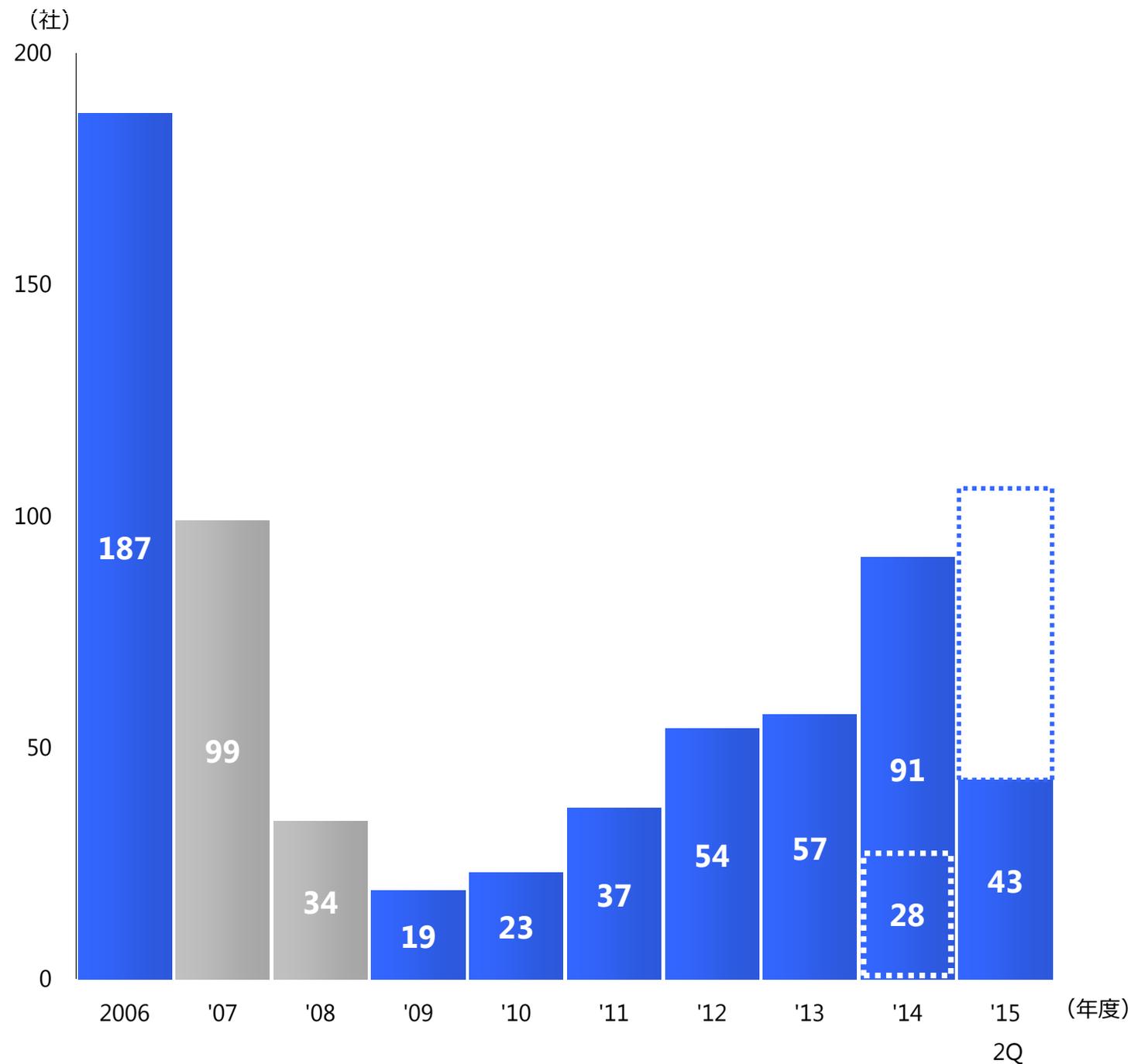
1.2. 株式市場の状況(2)

相場は大きく上下
当社株価は2015年初以来激動

2015年3月31日を100とする指数



1.3. 新規上場市場の状況(1)

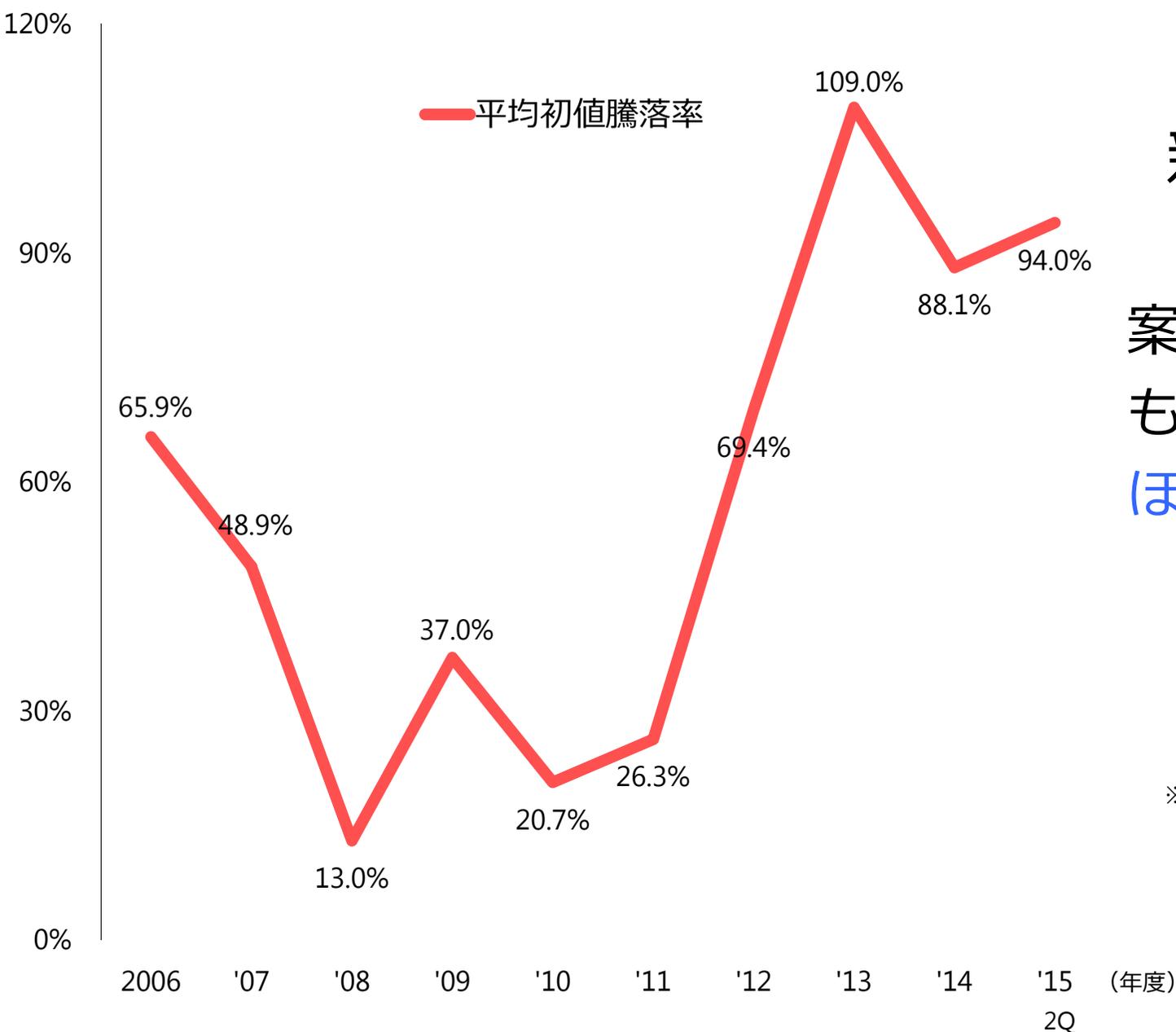


新規上場社数

6ヶ月経過時点で
43社が上場

9年ぶりの
100社到達も視野

1.4. 新規上場市場の状況(2)



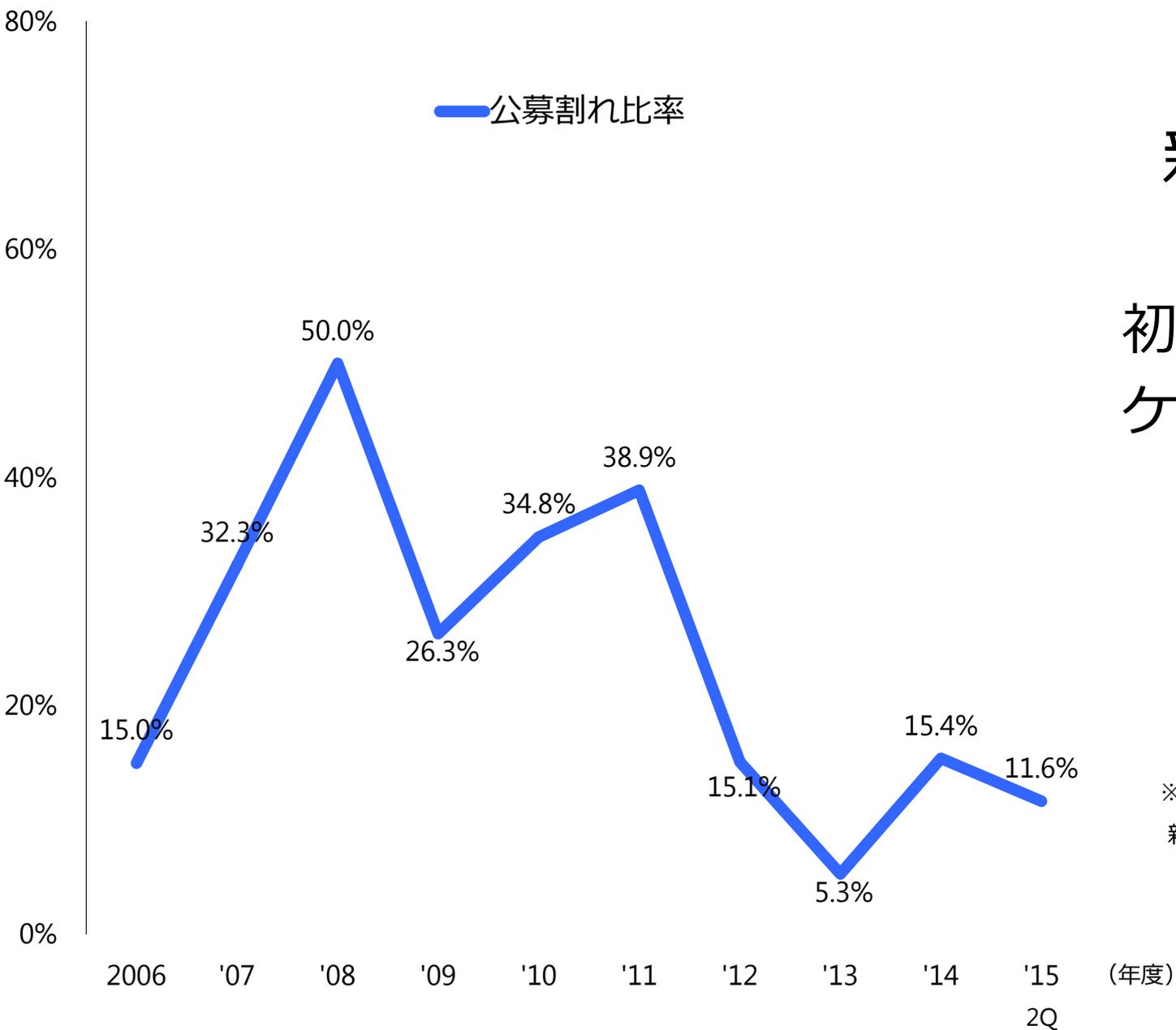
新規上場市場

案件による選別が進む
ものの、初値は公募価格の
ほぼ倍の水準

※初値騰落率：

{ (初値 - 公募価格) / 公募価格 } × 100 (%)

1.5. 新規上場市場の状況(3)



新規上場市場

初値が公募価格を下回る
ケースは依然少ない

※公募割れ比率：

新規上場企業のうち、初値が公募価格を下回った企業の比率

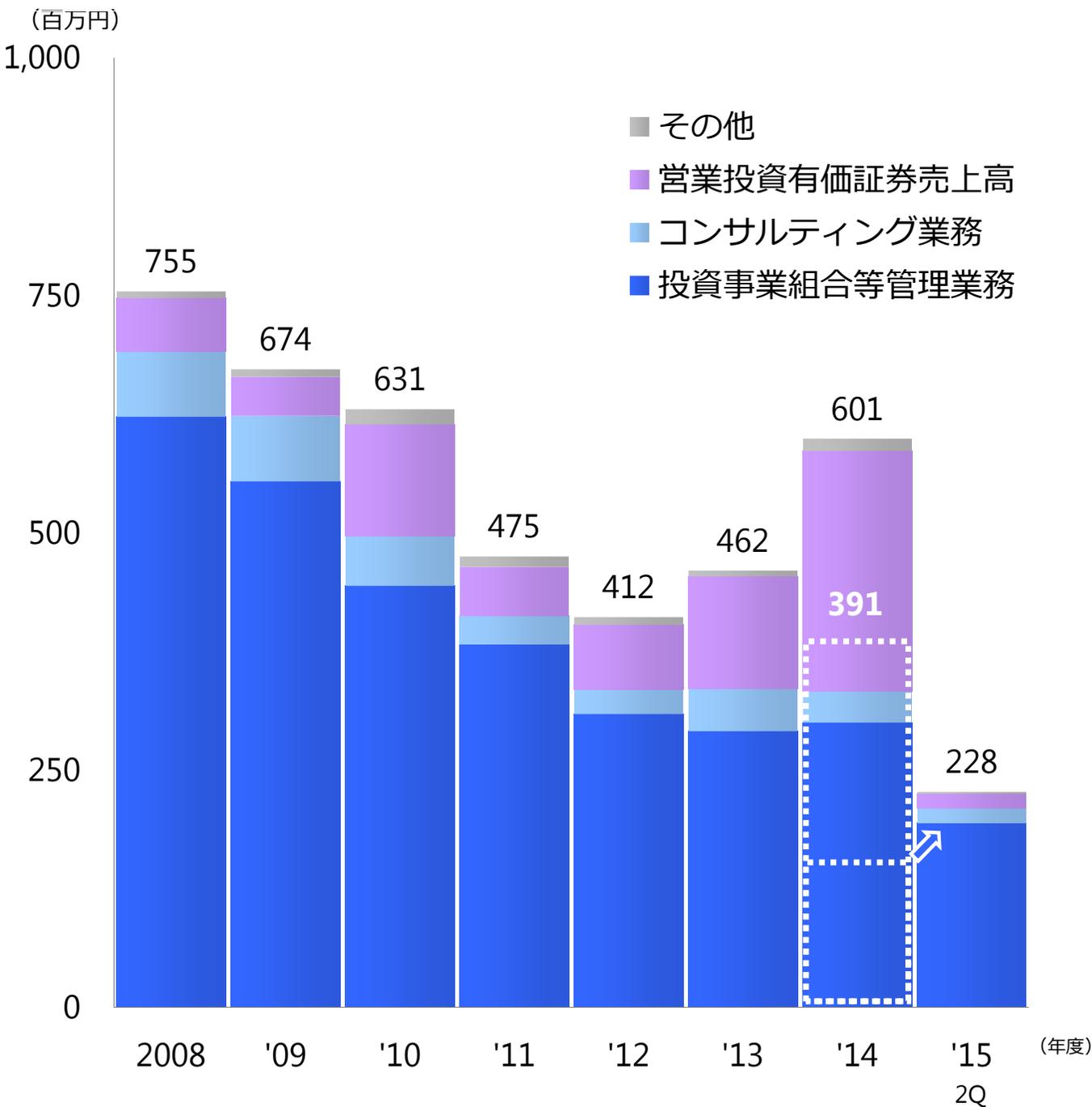
2016年3月期 第2四半期決算説明

2.1. 決算概要

ジェイエスエス持分売却の反動により売上高は減少したものの、
成功報酬の計上等により2007年3月期第2四半期以来9期ぶりの黒字化

単位：百万円	第17期2Q 2014/4-2014/9	第18期2Q 2015/4-2015/9	対前年同期比	第17期通期 2015年3月期
売上高	391	228	△163	601
営業損益	△57	35	+92	△147
経常損益	△72	25	+97	△173
当期純損益	△77	19	+96	△182
純資産	191	235	+44	102
総資産	1,102	961	△141	878
自己資本比率	16.2%	23.8%	+7.6	11.3%

2.2. 売上高推移

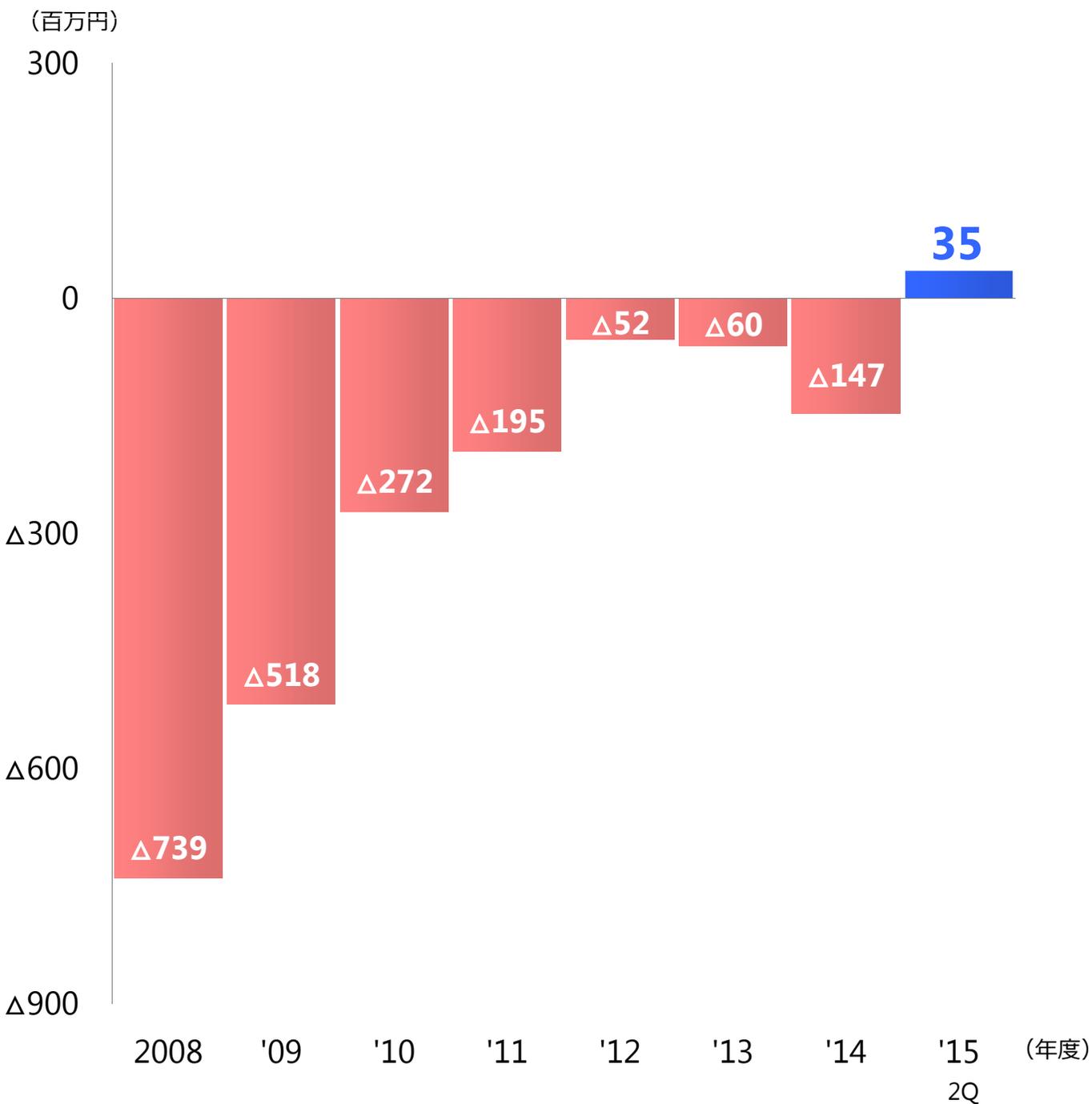


売上高

ジェイエスエス持分売却に伴う
 営業投資有価証券売上高増加の
 反動で前年同期比減収も、成功報酬
 44百万円の計上等により
 投資事業組合等管理業務収入は増加

□ 前年同期の数値を記載
 (大:売上高全体 小:投資事業組合等管理収入)

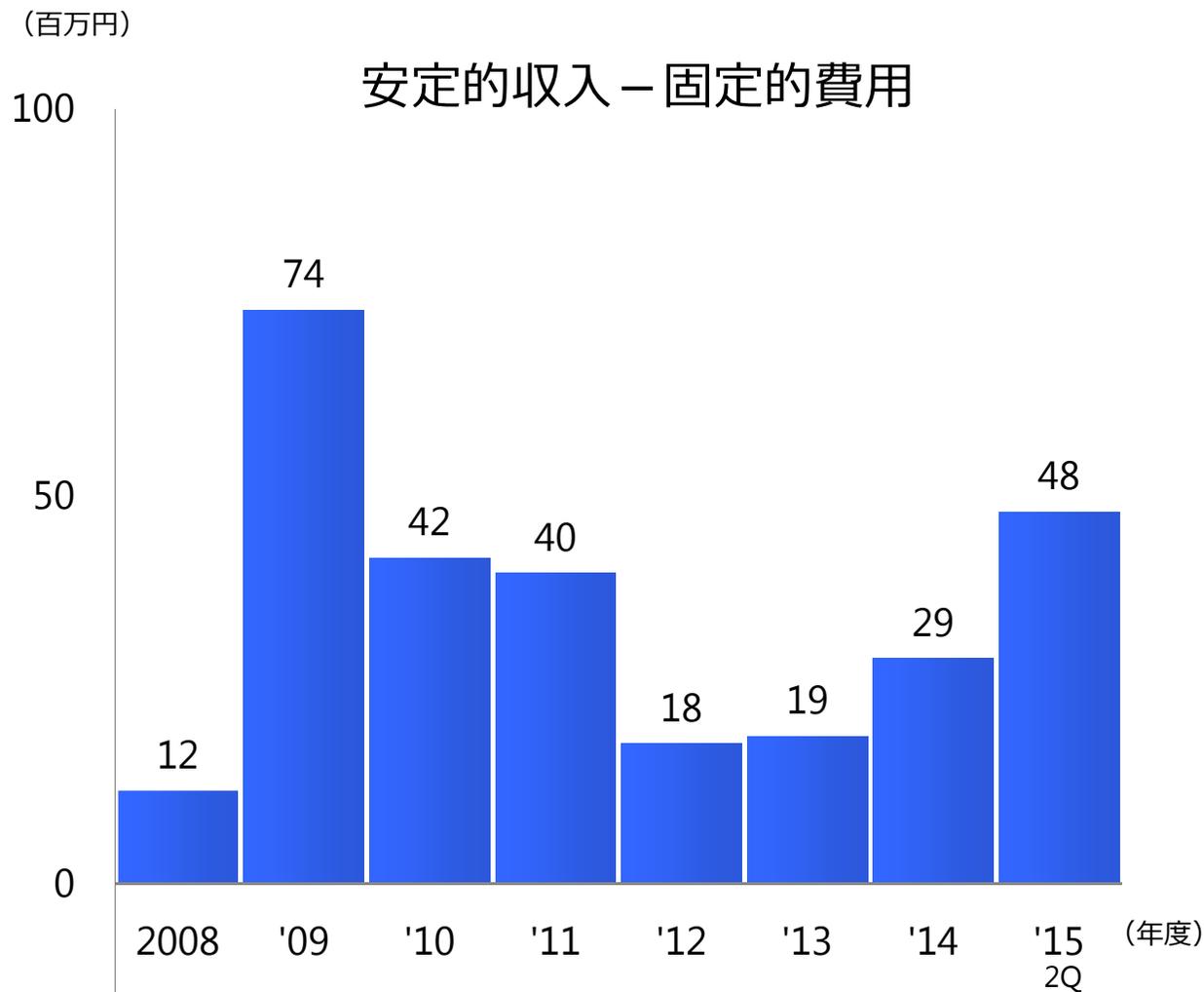
2.3. 営業損益推移



営業損益

2007年3月期第2四半期以来、
9期ぶりの営業黒字

2.4. 安定的収入と固定的費用のバランス



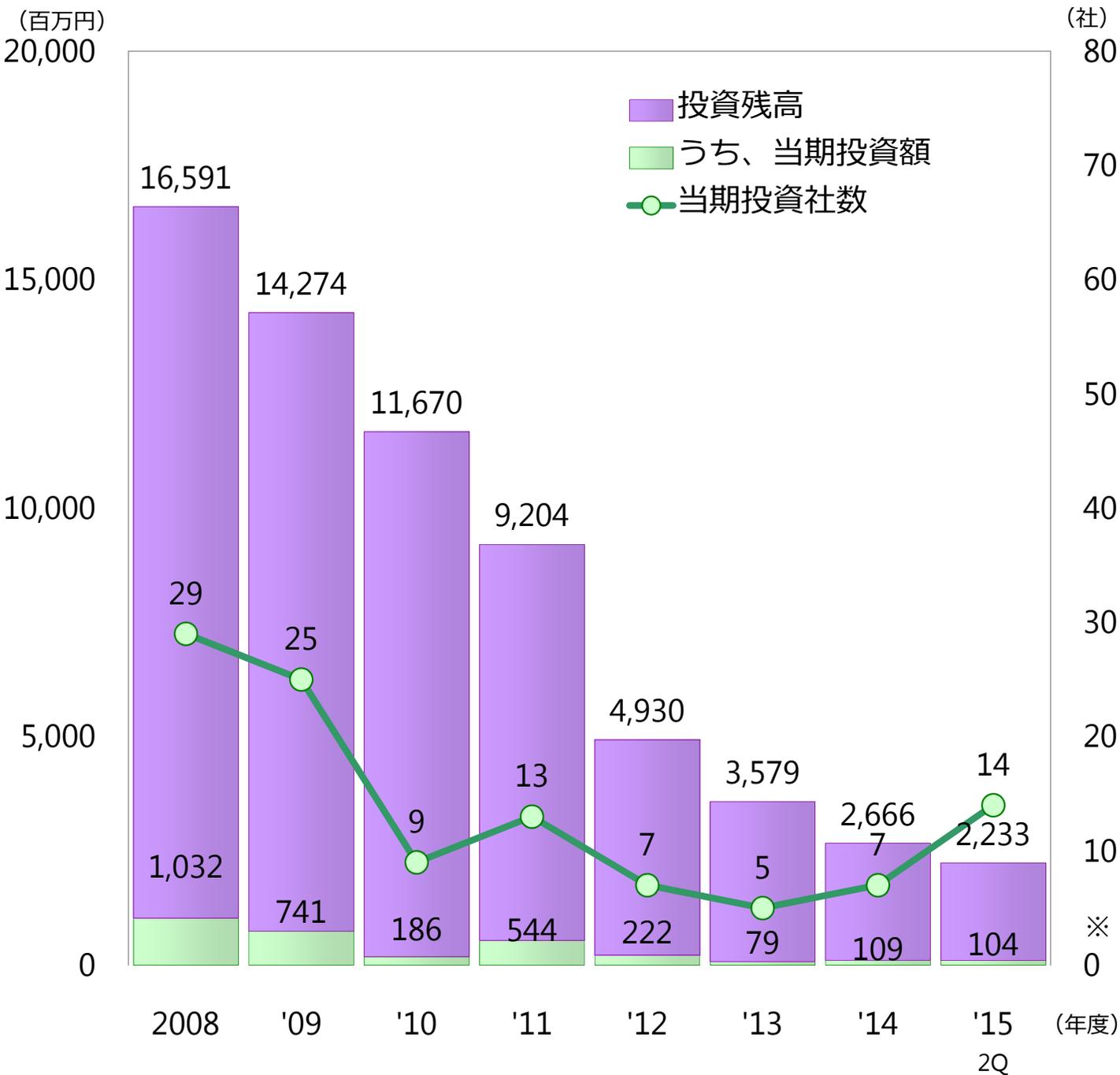
安定的収入と固定的費用

2007年度にバランスを大きく崩したものの、
経費削減を進めて
2008年度以降は安定黒字

安定黒字

※ 安定的収入 = 投資事業組合等管理収入 + コンサルティング収入
固定的費用 = 販売費および一般管理費 + 売上原価 (営業部門における活動経費)

2.5. 投資活動



投資活動

売却活動の推進と
投資額の減少により、
2007年度をピークに
投資残高は減少が続く

※ 連結対象の投資事業組合すべてを含んだ数値を記載

2.6. 上場企業紹介(1)

株式会社中村超硬

地域ファンド投資企業

上場日 : 2015年6月24日

上場市場 : 東証マザーズ

本社所在地 : 大阪府堺市

株式会社 中村超硬



事業概要 : 電子材料スライス周辺事業、特殊精密機器事業、化学繊維用紡糸ノズル事業

さかいベンチャー育成ファンドからの新規上場

投資時点
株価

1,000円 ⇒

上場初値

1,901円

上場初値
投資倍率

1.9倍

※分割考慮後

上場時の売出、上場後の市場売却により、ファンド持分50百万円を94百万円で売却

2.7. 上場企業紹介(2)

株式会社クレストック

地域ファンド投資企業

上場日 : 2015年7月8日
上場市場 : 東証JASDAQスタンダード
本社所在地 : 静岡県浜松市



事業概要 : 各種マニュアルの制作、ドキュメントソリューションの提供

しずおかベンチャー育成ファンドからの新規上場

投資時点
株価

400円 ⇒

上場初値 1,751円

上場初値
投資倍率

4.4倍

※分割考慮後

上場時の売出、上場後の市場売却により、ファンド持分100百万円を357百万円で売却

収益改善に向けた取り組み

3.1 収益改善に向けた取り組み

1. 大企業と中小・ベンチャー企業間における連携支援
 - CVCファンド設立
 - 外部パートナーとの提携
2. ベンチャーキャピタル事業の更なる強化
 - IPOに依存しないファンド設立
 - テーマを絞ったファンド企画
3. 新たな収益源の獲得
 - 新規事業による収益源の多様化
 - ファンド企画、管理受託

3.2 大企業と中小・ベンチャー企業間における連携支援

●CVCファンド

2014年6月 **ブリッジベンチャーファンド2014**を300百万円で新設

2015年6月 **ウィルグループファンド**を300百万円で新設

ウィルグループ(東証一部)から受託

2015年11月 **フェニックスファンド**を300百万円で新設予定

フジミインコーポレーテッド(東証一部)から受託

今後も同様の取り組みを継続

●外部パートナーとの連携

2015年5月 **ゼロワンブースター**と業務提携し、オープンイノベーションプロセスを

一気通貫にサポートするCVC連動型アクセラレータープログラムを提供

●企業間連携システム

2014年10月 より"**sohatsu online**" を運営 (<https://sohatsu.asia/>)

事業会社のニーズとベンチャー企業のシーズを効果的に結びつけ

新規事業を創出するプラットフォームに

3.3 ベンチャーキャピタル事業の更なる強化

- IPOに依存しないファンド設立

2015年8月 **事業承継センター**と業務提携し、投資ファンドを活用した
事業承継支援手法の開発・強化を実施

2015年10月 秋田信用金庫、自治体と共同で**あきた創業ファンド**を100百万円で新設
秋田広域都市圏の創業活発化を目的として設立
投資の出口として上場を前提としない起業支援ファンド

2015年10月 秋田県信用組合と共同で**秋田元気創生ファンド**を200百万円で新設
特定投資先の育成支援に注力するターゲット型ファンド

2015年10月 いわき信用組合と共同で**磐城国地域振興ファンド**を300百万円で新設
いわき市及び双葉郡に所在する創業者を支援することにより地域振興を目指す
投資の出口として上場を前提としない起業支援ファンド
※以上2ファンドは全国信用協同組合連合会の出資、支援を得て運用を行う

- テーマを絞ったファンド企画

2015年9月 **ブロードバンドタワー**との合併会社である**IoT Sohatsu Ventures**が
sohatsu1号ファンドを200百万円で新設(継続募集中)

3.4 新たな収益源の獲得

- 新規事業による収益源の多様化

インキュベーション事業は黒字化、パートナー次第で横展開も推進

自治体向けコンサルティング事業は少額に留まる見込み

前期に採択された“sohatsu online”に係る助成金収入※は当期に計上(4百万円)

※地域力活用市場獲得等支援事業中小企業販売力強化支援モデル事業

- ファンド運営企画、管理受託

引き続き**起業ファンド**、**CVC**等、特定投資家のニーズにカスタマイズしたファンドの他、**特定のコンセプトに複数の出資を仰ぐファンド設立の企画**提案を実施

第三者割当による新株予約権発行

4.1 第三者割当による新株予約権発行

● 資金調達の目的

新規ファンド組成による**収益基盤の獲得及び資本強化**

調達資金の大半は**新規設立ファンドへの出資に充当**し、中長期的な企業価値向上の源泉に一方で2015年3月期末時点で99百万円まで目減りした**自己資本の増強**もにらむ

● 資金調達スキームの概要

行使価額固定型(830円)の新株予約権により、最大**700百万円を調達**

割当先は**純投資家**(マイルストーン・キャピタル・マネジメント)であり、行使により**取得された株式は市場売却**される(10%以上の保有は不可能)

当社株価が行使価額の1.3倍(1,079円)を超えた場合、**一定の行使指示が可能**

2015年8月10日以降、当社取締役会の判断で**新株予約権は買戻し可能**

新株予約権の譲渡には当社取締役会の承認が必要

● 資金調達の状況

発行した新株予約権70個のうち11個が行使され、132,000株を発行、**109百万円を調達**
(11月にさらに5個が行使され、60,000株を発行、49百万円を調達)

【参考】 会社概要

- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 (FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 2,120百万円
- 発行済株式総数 : 6,394,500株 (2013年10月1日付で100分割)
- 株式上場市場 : JASDAQ市場 (8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地 烏丸中央ビル
- 従業員数 : 22名
- 事業内容 : 未上場企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など